

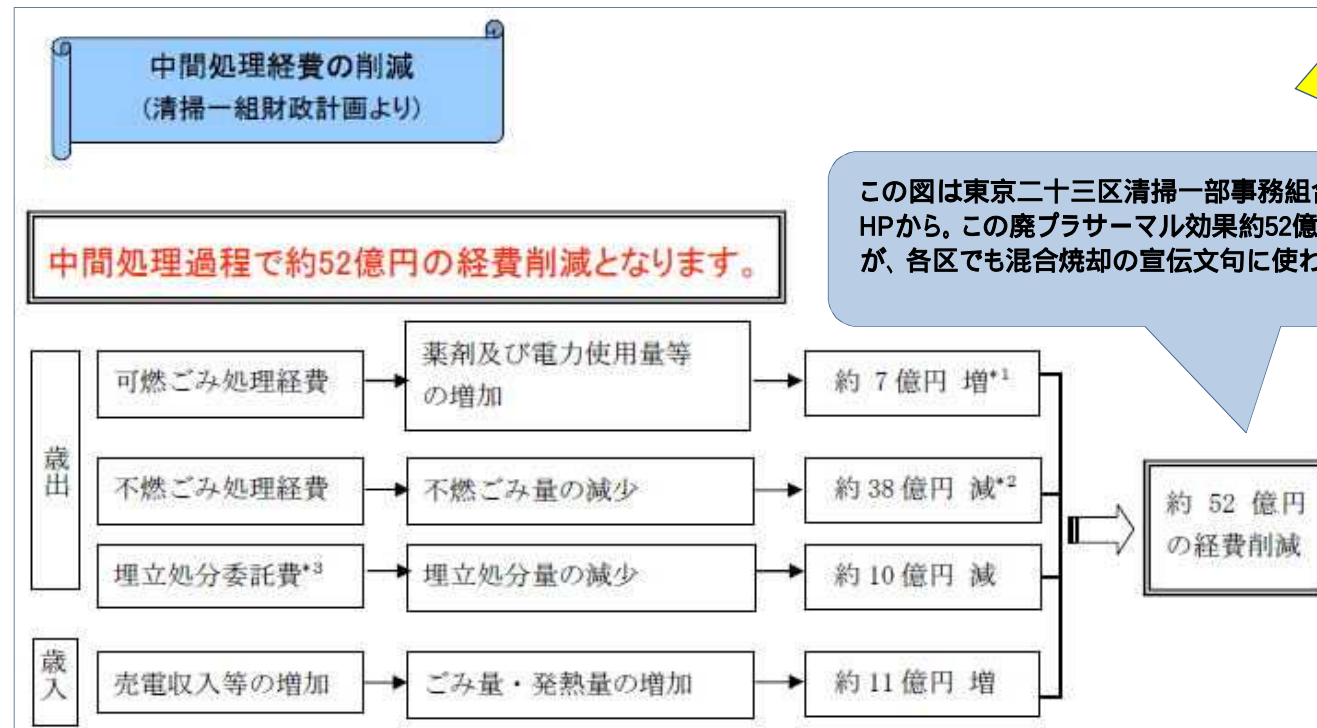
検証 東京23区 廃プラスチック混合焼却で約52億円もの経費削減になるのか？！

【検証】			一組の財政計画	決算実績値		
			中間処理費の削減	平成19年度 決算額(千円)	平成20年度 決算額(千円)	実際の削減効果 (平成20年度決算前年度比)
歳出	可燃ごみ処理経費	薬剤使用量増加	約7億円増	1,741,703	2,007,347	約9億9900万円増
		電力使用量等増加		5,240,899	5,974,067	
	不燃ごみ処理経費	不燃ごみ量の減少	約38億円減	4,839,326	4,011,126	約8億3千万円の減
	埋立処分委託費	埋立処分量の減少	約10億円減	2,210,487	1,596,740	約6億1千万円の減
歳入	売電収入の増加	ごみ量・発熱量の増加	約11億円増	3,950,136	4,582,895	約6億3千万円の増
約52億円の経費削減効果ならず!!			歳出計	14,032,415	13,589,280	10億7600万円の経費減
			歳入計	3,950,136	4,582,895	

定期点検及び補修工事・基幹設備(主要設備)整備工事で10.8億円の経費増

清掃費合計は14億円の増
売電収入増でも経費削減効果なし！

東京二十三区清掃一部事務組合「予算執行の実績報告」「予算のあらまし



1 ごみ処理経費に減価償却費や償還利子等を含めて試算すると約41億円の増となる。

2 上記と同様に試算すると約73億円の減となる。

3 埋立処分委託費 3,500円/トン また、このほかに、ごみの運搬距離の短縮、車両台数の減少等による収集運搬経費の削減効果も期待できます。